

フォーラム発言要旨

平野	皆さまこんにちは。私、日高川町の平野と申します。 普段は、企業の接客研修やコミュニケーションなどの講師をしています。よろしくお願いいたします。 では、リレー式次世代健全育成事業の一環で～つなげよう 次世代へ育成の力を～と題して「地域の育成力を考えるフォーラム」を始めたいと思います。 まず、この事業の趣旨ですが、地域の大人・青年が一体となって青少年の健全育成に取り組む体制を地域で構築してもらい、地域の青少年が青少年を育てていくという環境を整備していくことを目的としています。 本事業に取り組むきっかけとなったのは、かつらぎ町で実施しているジュニアリーダー育成の取り組みについて仁坂知事が感銘を受け、県内各地域に普及させようと始まりました。 今回、出場していただくそれぞれの町が独自に取り組んでいるジュニアリーダークラブの活動の現状や課題、それに対する解決方法などをお伺いし、地域の育成力向上に必要な取組を考えていきたいと思います。 それでは、パネリストの皆さんをご紹介します。 かつらぎ町教育委員会の澤田さん、広川町教育委員会の谷口さん、日高川町教育委員会の豊嶋さん、日高川町ジュニアリーダーOGの三池（みいけ）さんです。 では、まず最初に、自己紹介をかねてジュニアリーダーの活動や取り組みだしたきっかけなどをお話いただきたいと思います。 それでは、かつらぎ町の澤田さん、お願いいたします。
澤田	かつらぎ町教育委員会の澤田といいます。 当町のジュニアリーダーの研修会は、昭和53年から始まり、今年で38年目になります。この研修会は、初級を受講後、中級、上級へと順に進みます。それぞれの対象は、初級は5、6年生、中級は、中学1、2年生、上級は、中学3年生、高校1年生です。 紀北青少年の家で実施しているので、当初、指導は青少年の家の職員にお願いしていました。 この上級リーダーに認定されたリーダーのうち、希望者が集まってリーダークラブを結成しました。 結成当初は、自分たちは何をするのか、何をすればいいのか、をみんなで考えながら、リーダー研修のお手伝いをしていました。 このリーダー研修のお手伝いをしている間に、自分たちが研修して修得したことを後輩に教え伝えたい、との意見があり、具体的にリーダー研修会の指導者として関わりだしたのが、昭和57年です。過去37年間で延べ約22,000人がこの研修に参加しています。また、登録しているリーダー数は約30名です。 目的としては、色んな体験を通して、集団の中での立場・役割を理解するとともに集団のあり方などを体得し、人間として自立できる子どもを育てることを目的にしています。 子どもによる子どものための子ども会をめざして活動しています。
平野	ありがとうございました。長い間活動が続いているのは、すごいですね。引き続き、広川

	町の谷口さん、よろしくお願いいたします。
谷口	広川町教育委員会の谷口です。ジュニアリーダークラブを結成しようとしたきっかけは、当町で、子ども向けの事業で継続しているのは、海洋センターで実施しているヨットやカヌーを体験する海洋教室しかなく、他のものは、単発的なものばかりでした。単発的な事業でも、子ども達は楽しみにしていましたが、彼らの持っている力を伸ばし、指導することで成長できるような継続的な事業も展開していきたいという思いがありました。 過去には、広川町ジュニアリーダークラブがありましたが、途絶えてしまっており、平成23年度まで公民館で開催していた通学合宿がなくなったという背景もあり、また、県の事業でリレー式の事業もあり、県や育成協会からもリレー式の取組について働きかけがありましたので、ジュニアリーダークラブを復活させました。取り組みだして今年で4年目なので、リレー式のリーダー研修で育った中高生リーダーのパステルに事業の運営など協力してもらっています。現在、中学生が15名程度、登録しています。
平野	ありがとうございます。広川町では、どのようにリーダーの持てる力を伸ばす取組をしているのでしょうか？
谷口	毎回、研修の前に、講義の時間を持っています。そこで、「さんかく」の話をして、受け身でなく積極的に研修に臨んでもらっています。 また、自分が今何をすべきか、自主的に考えて動けるような力をつけられるよう促しています。大人のスタッフは、直接小学生には指示を出さず、中学生リーダーにもこちらから極力指示などをしないようにしています。
平野	ありがとうございました。引き続き、日高川町の豊嶋さん、三池さんよろしくお願いいたします。
豊嶋	日高川町教育委員会の豊嶋です。現在、約30名のリーダーを登録しています。結成は、平成4年で、活動内容は定例会の開催、レクリエーション研修、雪国体験など青少年行事での小学生の班付きリーダー的な役割、各地域でのクリスマス会への派遣、ゴミ拾いや他団体が実施するバザーなどのお手伝い、今年で言えば、国体運営などのお手伝いなどもしました。 後は、夏休みや春休みに研修会などを実施しており、リーダーの対象は中高生です。リレー式の取組としては、定例会に講師を派遣していただいて、レクリエーションの研修をしたり、町内の他団体と協働で事業に取り組んだり、異年齢で活動できる素地を作り、地域ぐるみで青少年の育成に取り組んでいます。
平野	ありがとうございました。様々な取組をされていますね。 将来を担う子どもたちの成長のために、地域がいろんな取り組みをされていることがわかり心強く思います。 それでは、詳しくお聞きしていきたいと思いますが、かつらぎ町の場合、リーダークラブ

	の発展の経過とその効果について、感じているところがあれば教えてください。
澤田	かつらぎ町には、当時青少年育成協議会有り、町内の子ども会、育成会を組織的に活動できるような取組がされていました。現在でも14の育成会と79の単位子ども会が存在し、地域で活動しています。そのような環境でしたので、リーダー研修を受講してもらいやすい素地はあり、保護者にも概ね理解や協力を得やすい部分があり、その証拠に、初級の5年生は、7割以上の参加がありました。その当時は、上級まで参加者が多く、リーダークラブの会員も増えていました。 リーダークラブで育った方の中には、指導者の経験が活かせる教員や保育士、看護師、公務員などの仕事を選び、実際に就職した方も多数います。
平野	ありがとうございました。 地域で組織的に子ども達の成長を促す取り組みをされていることや、リーダークラブでの経験が、子ども達のキャリア形成に役立っているのが素晴らしいと思います。 それでは、広川町の谷口さん、ジュニアリーダーの育成については、どのようなご苦労があるでしょうか？
谷口	初年度は、一回目の募集で定員に満たなかったもので、再募集しました。最初は初心者ばかりなので職員もよくわからず、試行錯誤しながら事業を実施しました。県と育成協会が育成しているジュニアリーダーのパステルに来てもらって、当町のリーダーの見本になってもらいました。身近な場所に指導者がいなくて困りました。宿泊を伴う研修をしているので、夏休みの開催となりますが、夏休みには他にも教育委員会や各種団体の行事があるので、日程調整が難しいです。
平野	ありがとうございました。 指導者の確保と研修日程の調節に苦労されているとのことですが、具体的にはどのようなことかありますか？ また、今後どのようなリーダークラブにしていきたいですか？
谷口	広川町は、対象の5、6年生は全部あわせて140人程なので、日程調整は、必須です。年度当初の校長会に入って学校と調整し、更に、地域の子も達が参加する行事も避けて調整しています。ジュニアリーダーに関わっていた指導主事と私で担当していますが、指導に関して今の段階ではリレー式で育成されたリーダーのパステルに助けてもらって成立しています。 どのようなジュニアリーダークラブをめざすか、ということですが、途切れさせず、継続できるクラブをめざしています。子どもが少なくなる中、中学校から町外へ出ていく子達もいますが、リーダーとしての活動を通して仲間意識や地元の良さなどを学び、一旦外に出てもふるさとを思い出し、地域で活躍する人材育成ができるようなクラブをめざしています。
平野	日高川町のジュニアリーダーの場合、自分たちの活動だけでなく、他団体と協働で活動す

	る機会もあるようにお聞きしていますが、詳しく教えていただけませんか？
豊嶋	はい。 平成２４年に友好都市である大阪狭山市との青少年交流事業の第１弾として、大阪狭山市の表現倶楽部「うどい」と日高川町のジュニアリーダークラブと美山太鼓保存会などが連携して交流舞台を開催したのがきっかけです。 平成２６年に開催されたあすなろ倶楽部の第１回公演にも出演し、同倶楽部並びに大阪狭山市の中高生とも交流を深めました。
平野	ありがとうございました。 他府県の子ども達と交流を持てるというのは、とてもいいことです。 それでは、かつらぎ町の澤田さんにお伺いしますが、リーダークラブの現状はいかがでしょうか？
澤田	かつらぎ町の場合、「子ども会」は、小学生中心に組織されており、町内会単位で組織されています。しかし、少子化の影響や安全面などから、子ども達が自主的に活動している「子ども会」もありますが、大人が主導し、子ども達と行事を行っているところが多く見受けられます。このため、本町の「子ども会」は、子どもの面倒を見てくれる育成者（大人）が含まれ、育成者が代表あるいは会長であることが多いです。 本来の「子ども会」のあり方としては、大人がお膳立てをして、子ども達がお客様として楽しむものでなく、子ども達が主役で活動（企画や準備、運営など）し、大人が手助けをすることが望まれます。 子どもは、遊びを通して、協調性・連帯感・信頼感を感じ、仲間としての集団行動などを身につけていくものですが、最近の子ども達は、この時間が減っています。 少子化、クラブ活動、塾等、子ども達の生活環境の変化でみんなで遊ぶ機会が極端に減少しています。このことからリーダー研修への参加者が過去よりも減っていますので、リーダークラブの参加者数も減っています。
平野	ありがとうございました。 現在の活動を、より子ども達中心のものとしていくために、サポートする大人たちの工夫や研究が必要不可欠ですね！ かつらぎ町の現状をお話しいただきましたが、広川町で取り組みはじめて感じる効果などがあれば教えてください。
谷口	平成２４年度から取り組みはじめて、小学生の時に参加してくれた子が中学生になり、リーダーとして今、数人参加してくれています。年々、リーダーとしてどう動くのか、大人が助言しなくても自ら行動できるようになってきている。参加者のほとんどが、来年も参加したいといっているの、有意義な事業となってきたことを感じています。年々、地域の連帯感や教育力が段々と低下して、子育てが難しい状況になっています。このような活動が継続的に実施され、子ども達の手によって楽しく活動できる場所を作っていきたいと思いま

	す。
平野	ありがとうございました。 過去の参加者がリーダーとして活動してくれるのはうれしいですね。 それでは、日高川町の三池さんにお伺いします。三池さんは、ジュニアリーダーのOGだそうですが、ご本人としては、どういう意識で活動していたのか、また、活動をして良かったことがあれば、教えてください。
三池	はい。はじめの頃は、学校外の友達と会うのが楽しく、いろんな活動を楽しんでいました。慣れてきた頃、地域の役に立てるのは、どんなことなんだろうと考えるようになりました。みんなで意見交換する中で、輪郭がはっきりして、積極性も出てきたように思います。 活動して良かったことは、仲間が出来たこと、様々な経験が出来たこと、積極性が出来たこと、みんなで活動することが多いので、協調性や連帯感も出来たように思います。
平野	ありがとうございました。 それでは、最後に今後の目標や課題について、お聞きしたいと思います。かつらぎ町の澤田さん、いかがですか？
澤田	はい。いかにリーダー研修への参加を促し、多くの参加者を確保するかが課題です。積極的に子ども会活動やリーダー研修のPRを行い、今年度は、リーダー研修に参加してくれるよう啓発物品を作成し、対象者に配布しました。その効果が少しはあったように感じます。また、学校へのポスター掲示、チラシや参加申込書などの配布もしてもらっています。 思いつくことを積極的に実施してPRしているところです。 過去なら地域での活動は「子ども会しかない」という状況でしたが、現在は、サッカーや野球などのスポーツクラブや塾へ行く中の「子ども会もある」という選択肢の一つになってしまいました。 多分、どこの地域もそうだと思いますが、ジュニアリーダーの活動はこんなに楽しいんだ、という魅力のある活動をして、積極的にPRしていきたいと思います。
平野	ありがとうございます。 引き続き、広川町の谷口さん、お願いします。
谷口	はい。広川町では、小学5年生から中学3年生までを対象に研修会を開催していますが、クラブの大会等と重なって参加したいという気持ちはあるが、参加できなかったという話も聞いており、年1回の宿泊研修ではそのような課題も出てくることになります。ただ、広川町のような小さい市町村では研修会当日は、教育委員会の管理職以外の職員が総出で運営しているので、年に複数回開催することは難しいです。教育委員会のみで実施するのではなくて、他団体にも協力してもらって運営していきたいと思います。 今後、リーダーが活動内容等計画段階から関わられるような活動に発展させていくことを目指しています。とにかく、途切れずに継続して活動していくことが大切だと感じています。

平野	ありがとうございます。 協力しあう他団体はどこにありますか？また、活動計画の段階から関わるために、具体的にどのような取組を考えていますか？
谷口	団体については、今のところ、ないです。町内だけでは難しいかもしれません。 具体的な取組としては、過去のジュニアリーダークラブでしていたように、事務局が招集をかけ、定例会を開くような取組ができれば、と考えています。
平野	最後に日高川町の豊嶋さん、お願いします。
豊嶋	はい。対象の中高生に活動の周知を行い、口コミでの新規会員の確保をしていきたいです。 また、会員ごとに意識・目的の差が見受けられるので、活動の目的を明確にして、高いレベルでの活動にしていきたいです。 そのためには、ジュニアリーダークラブとして、各種行事で小学生のリーダーとして活動するのは当然なことで、ボランティアなども積極的に行い、地域に対しても貢献できる活動にして、会員の意識を向上させていきたいと思います。 それで、ジュニアリーダーのOB会などを作り、その会にジュニアリーダーの指導などお願いしたいと思っています。
平野	ありがとうございました このフォーラムのテーマが「つなげよう～次世代へ育成の力を～」となっています。今、動ける私たちが一生懸命動いて下の世代に少しでもいいような形でつなげればいいなと思います。 パネリストの皆さま、本当にありがとうございました。